

- 植草共生の森 -

ホタル学習会

「ホタルの紙芝居」 台本



表紙) これから、ホタルの紙芝居をはじめます。

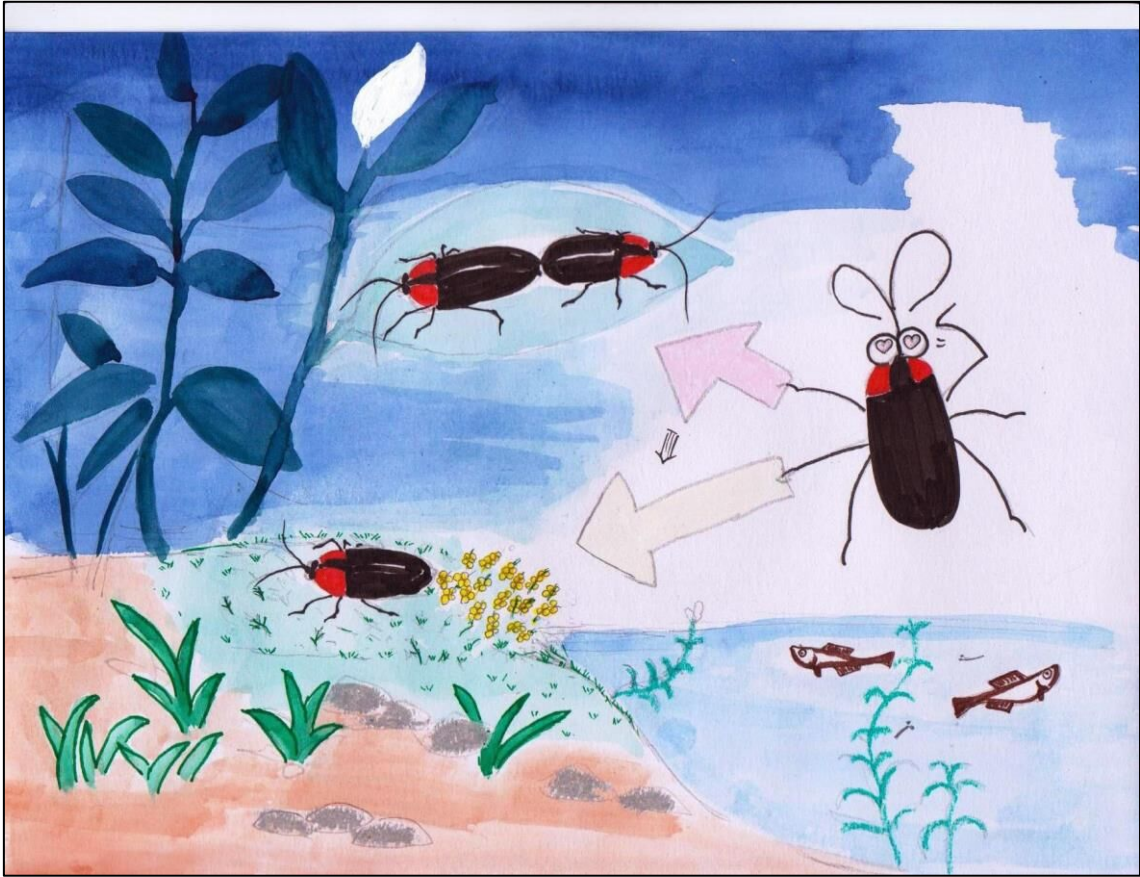


01) 2012年3月現在、世界に約2794種類、日本には54種のホタルがいます。

日本の代表的なホタルは、ヘイケボタルとゲンジボタルです。

「植草共生の森」のホタルは、ヘイケボタルです。

これからホタルの一生をみてみましょう！



- 02) おしりとおしりをくっつけて交尾をしているカップル。
メスのほうがオスより大きいです。
メスは水辺の草に、約 50~100 個の卵を生みます。



03) 約30日で、卵からかえったホタルの幼虫は水の中に移ります。



04) 幼虫は、8月～4月ごろまでたくさんエサを食べて、脱皮しながら大きくなります。

エサはカワニナなどの巻貝です。植草共生の森にも、たくさんのカワニナがいます。



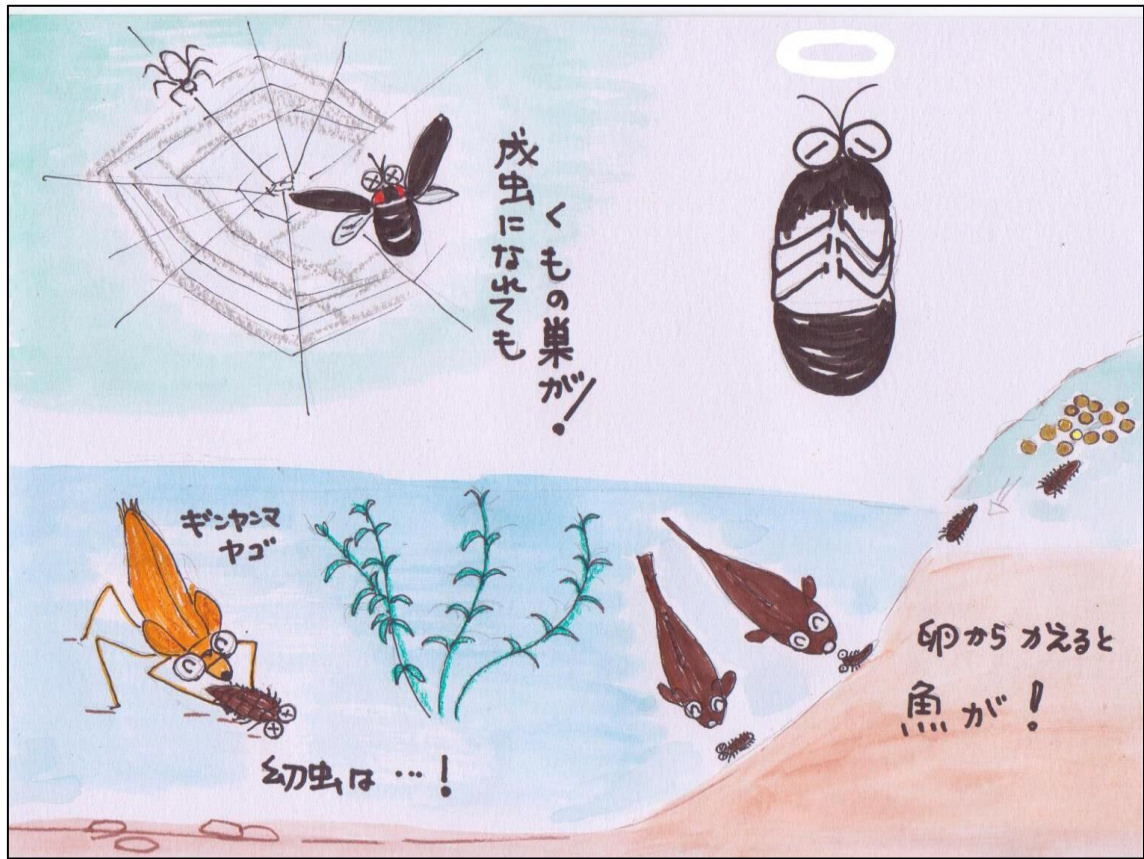
- 05) 4月末から5月ごろになると、小雨の降る夜に水から上がり、水辺のやわらかい土の中にもぐります。
- 幼虫も、卵も光るんですよ。



06) 土の中の幼虫は、30日ぐらいでサナギになります。サナギになってから10日後、成虫になったホタルが外に出てきます。



- 06) 成虫になると相手を探して交尾をします。成虫は草のつゆしか飲まず、1週間から10日ぐらいしか生きられません。
その間に交尾をして卵を産みます。



- 08) 卵は、全部が成虫になれるわけではありません。卵 100 個から 10 匹のホタルの成虫が誕生すればいい方です。卵からかえ孵った幼虫が水に入るとまず魚に食べられます。食べられなかった幼虫でも少し大きくなるとトンボのヤゴのエサになってしまいます。成虫なってもクモの巣にかかって食べられてしまうこともあります。きびしい世界です。



09)これから、ホテルにしていけない事を説明します。

この絵の子は、何がいけないのかな？

(参加者の答えを聞いてから…)

そうですね。

捕まえて家に持っていかないでね! 無理につかまえないでね。

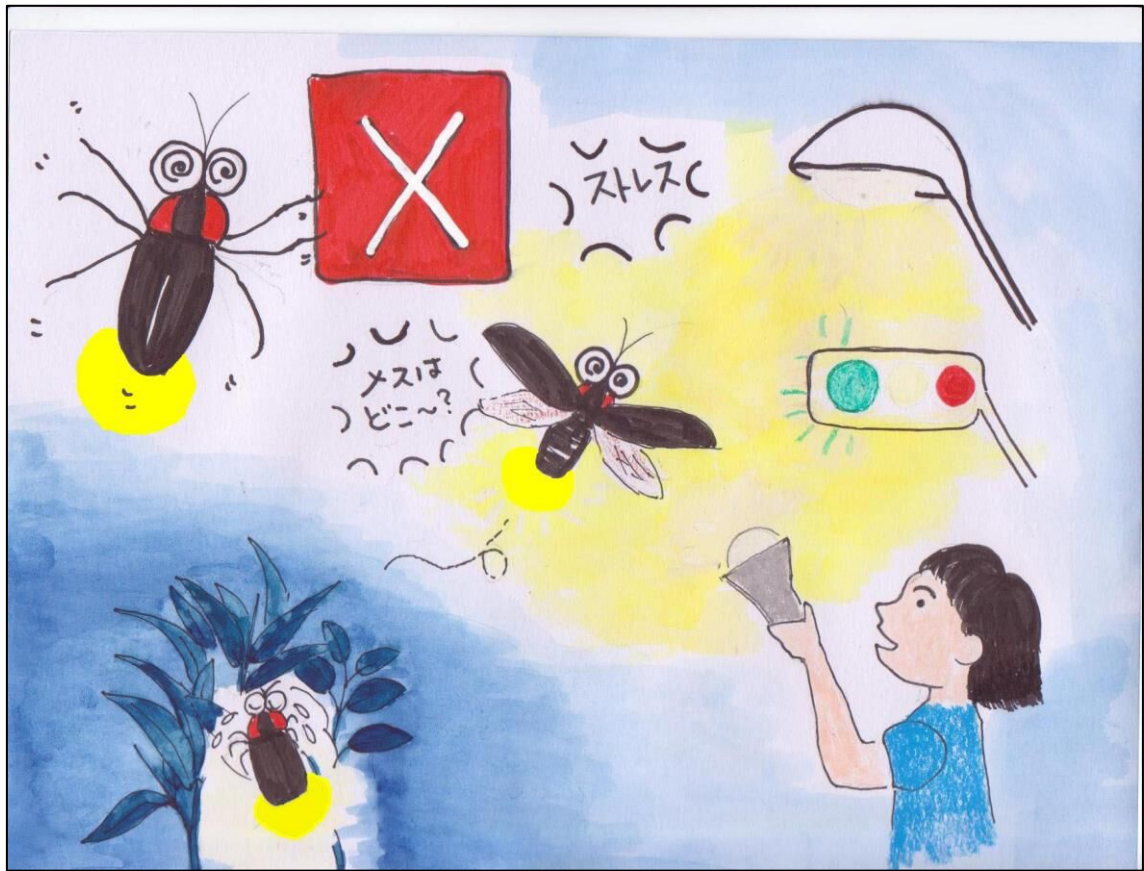


10) この絵の子は、何がいけないのかな？

(参加者の答えを聞いてから…)

そうですね。

板の上の歩かないといけないのに、草の上にありますね。



11) この絵の子は、何がいけないのかな？

(参加者の答えを聞いてから…)

そうですね。

ホタルは、明るい光に弱いです。強い光の方に飛んでいってしまい、水辺で淡い光を出して待っているメスを探せないこともあります。懐中電灯で照らすのはやめようね。みんなでホタルを大事にして、また来年も「植草共生の森」でホタルに会えるようにしましょうね!



12) これでホタルの紙芝居を終わります。

最後まで聞いてくれてありがとうございました。